

建交労 ひかい

2020年1月号

発行：建交労 No.190

岐阜農林建設連合支部

〒501-4234

郡上市八幡町五町1-4-15

電話 0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす



支部定期大会で挨拶する東執行委員長

新春のお慶びを申し上げます。
皆様のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。

新年明けましておめでとうございます 2020年勝利に向けて邁進を！

私たちは、労災被災者が安心して療養できる社会保障の充実と労災の根絶を求めて力強く運動を展開してまいりました。

就労歴や健康診断の受診歴などを一元的に管理する「ざい道建設労働者健康情報管理システム」を厚生労働省が防災防に設置し、昨年4月より稼働しました。悲願である裁判をしなくても被災者が救済される『トンネルじん肺救済法』の成立に向けて大きな前進です。じん肺キャラバン・国会議員の賛同署名など様々な運動に粘り強く取りくんだ成果です。

今年は、トンネルじん肺根絶6陣訴訟の早期和解が予定されています。全国の仲間とともにさらに運動を進めていきましょう。

また、三井金属神岡鉱山じん肺2陣訴訟では、3月25日に岐阜地裁で判決が出されます。CTでじん肺罹患を否定するという被告の不当な主張に、限界のあるCTをじん肺罹患の判断に導入することを許すわけにはいかないと、原告団を先頭として真っ向から闘ってきました。私たちは、勝利判決を確信しています。労災職業病被災者が、真に安心して暮らすためには、補償の充実を求めた闘いの手を緩めることはできません。

新たな年を、じん肺裁判の勝利解決の年、補償の充実を求める要求実現の年と位置づけ奮闘します。

地元市議会議員へ 賛同署名要請

神岡じん肺訴訟原告団・家族会では、来年3月25日の第2陣岐阜地裁勝利判決に向けて熱い運動を繰り広げています。

市民の代表 市議会議員のみなさんに『三井金属鉱業に対し、早期解決を要請するよう市長に求める』賛

同署名をもらおうと奮闘しています。神岡鉱山のお隣高山市で取り組んだところ、何と95%こえる方から署名をもらいました。

次は、いよいよ神岡鉱山のある飛騨市の議員にお願いしよう頑張っています。11月から開始。これまで4回の要請を実施しました。議会議員から署名をいただ

きました。「わたしが署名したことを他の議員に伝えてたくさん集めて」という応援の言葉付きで原告団も感激しました。

飛騨市は、神岡町と古川町が合併してできた市です。飛騨市の中でも旧神岡町は、企業城下町。10年前に裁判を始めたころは支援をい



早期解決を求め賛同署名を要請しました

神岡鉱山じん肺裁判 解決を求める賛同署名

神岡鉱山で働いた元労働者は、じん肺に罹患し、死への恐怖を持ちながら療養を余儀なくされています。
一日も早い被災者の救済とじん肺被害根絶のために、神岡鉱山じん肺裁判の早期解決を図るよう下記要請事項に賛同します。

記

- 1. 神岡鉱山じん肺被災者の被害救済と十分なじん肺防止対策を図るため、三井金属鉱業らに対し、神岡じん肺裁判の早期解決を要請すること。

以上

飛騨市長 都竹 淳也 殿

飛騨市議会議員

野村勝憲
2020.1.10 飛騨市志所町上野 FCP

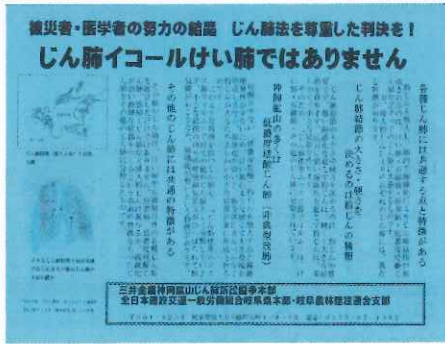
寄せられた賛同署名

「武蔵震い?しながら神岡町の議員さん宅を個別訪問しました。神岡町は5名の市議会議員がみえますが、3名にお会いすることができました。すると「立場があり市議会議員としては署名することができないが、じん肺被害について十分理解を望んでいる。個人としては応援している」「会

社がじん肺ではないと主張しているとのことだが、じん肺でなければなぜ皆さんがこんなに苦しんでいるのか。それならこの被害は何か。それならこの被害は何か。それならこの被害は何か。じん肺問題に強い関心を持って早期解決を望んでいることがわかりました。
みぞれの降る中、ぶるぶる震えながら地元市議会議員の賛同署名を一筆でも集めようと取り組んでいます。

更なる働きかけを 裁判長お出迎え宣言

9月9日に結審後、月一で裁判所前宣伝に取り組みます。裁判所の職員のみなさんは8時30分ごろ出勤のピークです。この時間に合わせようと、原告団は地元を5時に出発。それでも雪などで遅れることもありま。そんなとき、岐阜県労連や救援会のみなさん、弁護団がすでに宣伝行動を開始してくれています。



裁判所前でチラシを配りました

元気な街宣の声に迎えられさつそくビラ配布を行います。裁判所の職員の多くのみなさんがビラを取ってくれます。手が冷たくてもたもたしているのを待ってくれる職員さんもみえます。「こんなにとつてくれるなんて東京ではないよなあ、田舎やでもらってくれるんやろうか」と原告もうれしくなります。

トンネルじん肺根絶6陣 福井地方裁判所第5回弁論

12月25日(水)、福井地裁で全国トンネルじん肺根絶第6陣北陸中部訴訟の第5回口頭弁論が開かれ

ました。当日は飛騨分会も応援に参加しました。裁判長は「1次認定、1月上旬をメドに行い裁判所から送付する。1カ月後までに不服申し立てをおこなうように。不服申し立ての無い原告について和解金額の算定をおこなうので診断書など資料を提出せよ」と述べました。

弁論終了後、福井県弁護士会館で報告集会を行いました。吉川健司弁護士は「2次認定は2月下旬か3月上旬。年度内和解のみこみもある。遅くとも4月には和解。全国でも早い和解が成立か。10名の原告について就労認定月数が17

カ月以上で争いは無い。残る3名についてもそれ程度問題があるとは思えない。1次認定後、和解期日を決め

るよう裁判所に求めた」と今後の進行について報告しました。原告団長の佐々木強さんは「私たちの裁判を応援していただいていることに感謝している」とあいさつしました。

年の瀬も押し迫った時期の第5回期日でしたが、早期和解のメドがついたことに原告は「うれしい。まさか今日裁判所が和解時期について言うとは期待していませんでした。」「これで、喜んで新しい時を迎えることができる」と喜びました。



あいさつをする佐々木原告団長

2019年12月の活動報告

経過

- 12/6 第1回執行委員会 @組合事務所
 12/7 新規振動障害診察(組木さん) @みどり病院
 12/9 振動障害労災不支給行政訴訟の検討 @合同法律事務所
 12/10 神岡じん肺訴訟 原告団会議 @古川町中央公民館
 12/12 遺族年金申請について主治医面談(谷口さん)
 @浜田・浅井医院
 12/16 神岡じん肺訴訟 裁判所おでむかえ宣伝行動 @岐阜地裁
 12/18 東濃分会 @笠原中央公民館
 12/19 新規検査 @浜松佐藤町診療所
 12/20 飛騨市議会議員賛同署名要請 @神岡町
 12/22 県本部執行委員会 @組合事務所
 12/25 全国トンネルじん肺根絶6陣訴訟 福井地裁第5回弁論

2020年1月の予定

予定

- 1/11 神岡じん肺訴訟 闘争本部会議 @郡上市文化センター
 1/14 全国トンネルじん肺根絶6陣訴訟 東京地裁第5回弁論
 神岡じん肺訴訟 裁判所おでむかえ宣伝行動 @岐阜地裁
 1/16 岐阜農林建設連合支部旗開き
 1/19 県本部旗開き @虹の家

～お悔やみ～

●飛騨分会の柚原幸雄さん(81)が亡くられました。柚原さんは神岡鉦山で掘削作業をされましたがじん肺を発症。長い間療養に努めておられました。慎んでご冥福をお祈りします。

編集後記

年末恒例の餅つきをおこなった。田植で、足をもられてすつころんだなあ、それが今や餅になるなど感慨深い。
 蒸した米を漉布ごとぱっと持ち上げ、餅つき機に投入。10分ぐらい経つと機械の中でまんまるの餅になるので、手でひよいとすくい取って米粉をふった板の上に出し延ばしていく。我ながら鮮やかな手つきだ。「本当に手際が良くなったなあ」そうだろう、そうだろうもつと感心しろと夫の独り言を聞くともなく聞いていた。「昔は、熱くて持てなかつたのに、今じゃ面の皮同様の手の皮も厚くなったもんや」ちえ、褒めたんじやなかつたのか。まあ40年近く経てばこうなるの。肩までおとなしてそう悲しそうな顔しなくていいでしょ!